



平成 18 年 9 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社キリン堂
代 表 者 名 代表取締役社長 寺西 豊彦
(コード番号 2660 東証第一部・大証第二部)
問 合 せ 先 常務取締役 井村 登
事業戦略室長
(TEL. 06-6330-0211 (代表))

平成 19 年 2 月期中間期個別業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 3 月 31 日の決算発表時に公表しました「平成 19 年 2 月期中間期 (平成 18 年 2 月 16 日～平成 18 年 8 月 15 日)」の個別業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 当中間期の個別業績予想の修正 (平成 18 年 2 月 16 日～平成 18 年 8 月 15 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 (A) (平成 18 年 3 月 31 日)	36,000	983	407
今 回 修 正 予 想 (B)	35,065	728	336
増 減 額 (B-A)	△ 934	△ 254	△ 70
増 減 率 (%)	△ 2.6	△ 25.9	△ 17.3
(ご参考) 前中間期実績 (平成 18 年 2 月期中間期)	33,360	755	357

2. 中間個別業績予想の修正理由

平成 19 年 2 月期中間期におきましては、粗利率の改善ならびにローコストオペレーションの推進を経営の根幹に置き、ヘルス&ビューティケア商品の販売強化や販促の見直し等により、安定的な収益の確保に努めてまいりました。

しかしながら、昨年ブームとなったコエンザイムQ10等のヒット商品の需要低迷に加え、天候不順や花粉の飛散量が前年から大幅に減少したことによる季節商材の販売不振により、売上高が当初見込みを下回る見込みとなりました。

結果、粗利率は上昇したものの十分な粗利高を確保することが出来ず、販売費及び一般管理費の増加を吸収するに至らなかったため、売上高、経常利益、当期純利益いずれも前回予想を下回る見通しとなりました。

なお、連結中間期業績予想及び単体・連結の通期業績予想につきましては、現在精査中であり、確定次第公表いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上